

ウィンドウズ・ライブ・メール

XP、ビスタ向け導入法 ■ 実用性きめ細かく

ウィンドウズ7には標準のメールソフトがなく、「ウィンドウズ・ライブ・メール（以下ライブメール）」というソフトをダウンロードして使います。ライブメールは、従来のアウトLOOK・エクスプレスなどよりも、きめ細かい実用性を備えています。「7」以外のウィンドウズでも利用できるのも、関心のある人は移行してもよいでしょう。今回はXPとビスタのユーザー向けに、導入法を解説します。（ライター 猪狩友則）

てく生活入門

ライブメールは、マイクロソフトのウェブサービス「ウィンドウズ・ライブ」で提供されています。使い方や設定は、アウトLOOK・エクスプレスとほとんど同じなので、使用法で迷う点はあまりないでしょう。

ライブメールの特徴の一つは、複数のメールアドレス（アカウント）の使い分けがしやすくなった点です（図上）。アウトLOOK・エクスプレスや、ウィンドウズ・ビスタに付属したウィンドウズメールでも、複数のアカウントを使いましたが、すべて一つの「受信トレイ」に入ってしまった。アカウントごとにフォルダーを分けるには、仕分けルールを作らなければならなかつ

たのです。ライブメールでは、アカウントごとに「受信トレイ」や「送信済みアイテム」といったフォルダーが個別に用意されるため、どのメールアドレスに届いたメールが混乱する点がなくなりました。用途に応じて複数のメールアドレスを使い分けている人には便利です。図上のように、左にフォルダー類、中央に差出人・件名・日時のデータ、右にレビューウィンドーを表示させることができます。2003以降のオフィス「アウトLOOK」で導入された表示法で、差出人・件名・日時の基本データを表示させつつ、広い画面を使ってメールの内容を確認できます。メニューの「表示」から「レイアウト」

を選択して、表示法を変更できます。メニューが見当たらないければ、「Alt」キーを押せば表示されます。

XPやビスタでアウトLOOK・エクスプレスやウィンドウズメールを利用している場合移行は簡単です。ソフトをダウンロード、インストールすれば、メールデータや設定が自動的に移行されます。アウトLOOK・エクスプレスなどでは、メールデータの保存場所がわかりにくく、データのバックアップや引っ越しなどの場合に探るのが大変でした。ライブメールも初期設定ではわかりにくいのですが、保存先は簡単に変更できるので、気になる人は変えておきましょう。「マイドキュメント」や「ドキュメント」に「WindowsLiveMail」などのフォルダーを作り、図下の手順で、保存場所に指定すればOKです（データのコピーに時間がかかる場合があります）。もちろん初期設定のままの場所に保存しておいても大丈夫です。

ウィンドウズ・ライブのカレンダーと連携できるのが大きな特徴です。ウィンドウズ・ライブのカレンダーは、ウェブブラウザで閲覧・編集できますが、ライブメールでも同じものが利用できます。ライブメールのカレンダーで予定を登録しておけば、ブラウザでも確認できるわけです。

自宅のパソコンでライブメールのカレンダーにスケジュールを登録し、外出先からブラウザで確認するという使い方もできます。筆者は自宅でも職場でもライブメールを使っていて、職場で登録した予定を自宅でも確認しています。

ライブメールのカレンダーはインターネットにつながっていてもなくても利用できるのが利点です。最後に接続したときの状態が保存されているので、ネット接続できないところでも、予定を確認できます。新しく追加した予定は、次回インターネットに接続したとき、自動で反映されます。

ウィンドウズ・ライブのサービ

ライブメールで、ぜひ利用したいのが「カレンダー」機能。ウェブ上のウ

ウィンドウズ・ライブのサー

ウィンドウズ・ライブ・フォトギャラリーでレタッチしてみる



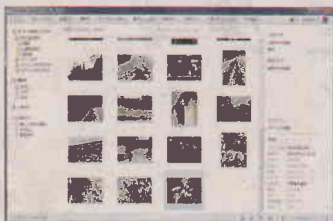
インストールする

ウィンドウズ・ライブ・フォトギャラリーは無料でダウンロードできる。
<http://explore.live.com/windows-live-photo-gallery> で「今すぐダウンロード」をクリック

ウィンドウズ・フォト・ギャラリーを実行する

スタートメニューの「すべてのプログラム」の「Windows Live」から「Windows Live フォトギャラリー」をクリックすれば実行できる

写真を修整する



写真を選択し、修整をクリック。写真をダブルクリックしても修整できる

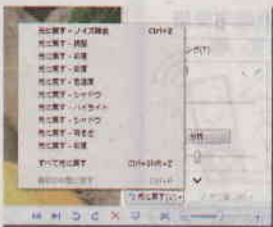


右側に調整できる大まかな項目が表示される。「露出の調整」や「色の調整」ではクリックすることで、さらに細かい項目が表示される。ギャラリーに戻ると自動で保存される

ウィンドウズ・ライブ・フォトギャラリーで可能な調整

- 自動調整 自動で写真を調整
- 露出の調整 ● 明るさ 画面全体を明るくしたり、暗くしたりできる
 - コントラスト 明暗差を強調したり、鈍くしたりできる
 - シャドウ 暗い部分の明るさを調整できる
 - ハイライト 特に明るい部分の明るさを調整できる
 - ヒストグラム 明るさの分布のグラフ。白や黒をどこまで再現するか調整できる
- 色の調整 ● 色温度 暖色、寒色の調整
 - 色合い 緑やマゼンタの色かぶりの調整
 - 彩度 色の鮮やかさの調整
- 傾きの調整 画面全体の傾きを調整。グリッド（マス目）が表示される
- 写真のトリミング 写真の一部の切り出し。縦横比も指定可能
- 詳細の調整 ● シャープネス 輪郭部分などの強調
 - ノイズの除去 ノイズを除去する。一度画像全体を「分析」する
- 赤目修整 ストロボ光などで赤く写った目の補正をする
- 白黒 オレンジ、黄、赤のフィルターをかけた場合の白黒化や、セピア調やシアン調にもできる

失敗しても「元に戻す」



加工した写真は元に戻せる。修整項目10個分までは戻ってやり直せるし、すべての修整を元に戻すことも可能

顔認識して名前タブで写真を整理



顔認識機能もある。人が写っている写真を選択すると、画面右の「人物タグ」に「○人の人物が見つかりました」と表示される。クリックすると顔の部分に四角が表示されるので、名前を登録していける。自動で誰か認識する機能はないが、登録してある人ならリストから選ぶだけだ